「伊能大図」に噴火の鳥海山

江戸時代後期の測量家、伊能忠敬（一七四五―一八一八年）がつくった「大図」と呼ばれる日本地図の写し二百六枚を米国議会図書館で発見した研究グループが二十日までに、写しを撮影した写真のうち、これまで未公開だった二十二枚の公開に応じた。

二十二枚に収められた地域は、鳥海山の噴火が描かれている本県を含め、現在の宮城、愛知、兵庫、京都、徳島など計十九府県にまたがっている。

写しは一枚が畳一枚分の大きさ。約二百年前の地名や城、集落が丁寧に書き込まれ、街道や海岸線など測量に用いた線が赤で描かれている。

大図は近代の全国地図の基になったが、原図は火災などで焼失。写しも関東周辺の約六十枚しか見つかっていなかった。

「伊能忠敬研究会」（渡辺一郎代表理事）が日本国際地図学会、日本地図センターとの共同研究で残りのほとんどの部分に当たる二百六枚を発見。撮影状態が特に良い数枚を公開したが、全国から「地元の地図を見たい」と声が寄せられたという。

山形側から見た鳥海山（伊能忠敬研究会渡辺一郎氏提供）

1802年の測量 前後描く？

鳥海山の火山記録は古く、五七八年までさかのぼるといわれる。一八〇一（享和元）年七月の大噴火では新山が形成され、登山者八人が死亡した。三年後の一八〇四年にも大地震で噴火している。

伊能忠敬は一八〇二年、幕府の命により出羽・越後の海岸、街道を測量している。地図は、その前後の様子を描いた可能性が考えられる。度重なる噴火は住民に恐れられ、火を噴く荒ぶる神・大物忌神に位階を贈って怒りをなだめようとした。最近では一九七四（昭和四十九）年、水蒸気爆発により噴煙が上がり話題になった。

2001 参院選県区 攻防の焦点 下

不透明―2つの政党連携

自公 生むか相互利益

民主 社民 機動性に課題も

「弾みがつく」「走るだけ」―。十九日夜、山形市の県教育会館で開かれた山形など二市二町の自公選対会議を終えた関係者は、県都を中心に固まった協力体制に満足げな笑みを浮かべた。

自民側が今井栄喜県連総務会長、沢渡和郎山形市支部長、衆院復帰を目指す遠藤利明元衆院議員、公明は寒河江政好県本部代表代行、真木正夫同事務長らが出席した。

県選挙区に阿部正俊候補を擁する自民、比例代表で渡辺孝男候補の当選を目指す公明。会議では議席を死守したい双方の利害が一致し、県都一帯での票のギブ・アンド・テークに大筋で合意した。

連立与党の事情から、県内でも公明が阿部氏を推薦、自公協力が試みられている。自公協力は、一九九九年十月の自自公連立以来、去年の衆院選で公明が2区遠藤武彦氏を推薦した経緯があるが、参院選では初めて。

阿部陣営の選対幹部は「公明の支援を受けることで、特に激戦地山形市での票の上積みが期待される。去年の衆院選より感触はかなりいい」と語る。選挙協力が奏功し、選挙区で全面支援を受けられるなら、自民にとってこの上ない。

不透明なのが自民から公明比例への協力。公明にとってギブ・アンド・テークのテークに当たる。今回、2区遠藤氏の一部後援会関係者が、恩返しとして渡辺氏支援に動くが、自民支持者には「選挙で公明の名前を書いたことがない」と抵抗感があるのも事実だ。

一方、自公と対立する形で連携を試みる民主・社民協力も成否が注目されている。県内での両党の協力は、一九九六年の自社さ政権下での衆院選が出発点になった。去年の衆院選では、1区鹿野道彦氏（民主）、3区斉藤昌助氏（社民）の間で明確な選挙協力が成立した。

斉藤氏は今回、衆院選の時と同様に、近藤鉄雄元労相と二人三脚で3区

山形新聞

発行所
山形新聞社
山形市旅篭町二丁目五番
郵便番号 990-8550
電話 代表023(622)5271
郵便振替 02400-3-1110
©山形新聞社2001

読者センター
Eメール dokusha@yamagata-np.co.jp
電話 023(622)5666
山形新聞ホームページ
アドレス http://www.yamagata-np.co.jp/
購読申し込み（9～17時）
0120-81-8040

県内の天気

	きょう	あす
村山	21／32（℃） 10／20（%）	23／33（℃） 20（%）
置賜	21／31 10／20	
庄内	23／29 10／20	
最上	20／30 10／20	

県外のきょう　県内週間

不景気の出口知らせ

世界不況回避

日本 改革と成

ジェノバサミット G8

【ジェノバ20日共同＝金沢秀聡】主要国首脳会議（ジェノバ・サミット）が二十日昼（日本時間同日夜）、イタリア北部ジェノバのドゥカレ宮殿で三日間の日程で始まった。初日の討議で日米欧七カ国（G7）は経済問題を扱う首脳声明を採択、深刻さを増す同時株安への対応も含め、世界不況の回避と経済再生に向けた政策協調を打ち出した。＝3面に関連記事

小泉純一郎首相は、世界経済の減速傾向が強まる中、各国が日本経済のこれ以上の悪化を容認する状況にないことを踏まえ「日本のマイナス成長回避」のための不良債権処理を含む構造改革断行と景気の両立の決意を国際公約。雇用拡大に向けた規制撤廃や新規事業育成など、内需拡大策の策定が小泉政権の緊急課題となりそうだ。

また、世界貿易機関（WTO）の次期多角的貿易

県高校野球 きのうの

◇1回戦（県野球場）

寒河江	8―0	酒田北
	（7回コールド）	
米沢中央	13―2	新庄農
	（5回コールド）	
羽黒	18―1	小国
	（5回コールド）	

◇1回戦（酒田市営光ケ丘野球場）

天童	13―1	新庄東
	（5回コールド）	
谷地	11―1	温海
	（5回コールド）	
山形東	10―0	酒田西
	（5回コールド）	

◇1回戦（鶴岡市小真木原野球場）

山形中央	6―3	鶴岡高専
山形学院	8―7	鶴岡中央
酒田商	7―6	米沢商

◇1回戦（新庄市民球場）

南陽	7―0	酒田東
	（7回コールド）	
北村山	7―6	長井
新庄工	17―6	新庄北